

新産地報告

所沢 あさ子*

ギボウシラン (ラン科)

Liparis auriculata Blume ex Miq.

・飯田市山本 755m、2021 年 7 月 17 日採集、標本番号 AS5672。写真 1 (2021.7.11)、写真 2 (2021.7.11)。2020 年 8 月 26 日発見。採集。標本番号 AS5470、AS5471。

葉はギボウシの様に表面の脈が隆起している。蒴果 (開花個体) をつけた個体が 66 あった。すでに花は終わっていたので次年度の、開花を待った。

冬には偽茎球がcaじられた個体があった。

2021 年のギボウシランは 7 月 6 日には咲きだし、18 日頃までが見ごろであった。

生育場所は谷の小川沿い。山裾の斜面で厚い (厚さ 30cm も見える) 堆積物の上に生育し、絶えず湧水がしみ出す不安定な場所。1 日のうち 1 から 2 時間位日が当たる。

2021 年 8 月 4 日開花個体 65 数える。その内昆虫や、動物に食された花茎 10 個体含める。

花は花茎が数センチの小さい個体から 30cm に付け、中には 1 個体に 40 個も花を咲かすものもあった。ここは個体数もあり、健やかな生育をしていて大変貴重な自生地だ。

・ギボウシランの県内の生育地は下伊那郡根羽村松原 (上野 2009) がある。そこと同一場所と思えるギボウシランを筆者と清水岳志は松原 2021 年 9 月 22 日 11 個体の内開花個体 3 を確認した。

ナツエビネ (ラン科)

Calanthe puberula Lindl. var. *reflexa* (Maxim.) M. Hiroe

・阿南町 740m、2021 年 8 月 6 日採集、標本番号 AS5682。写真 3 (2021.8.11)、写真 4 (2021.8.6)。

2019 年スギの林内にサイハイランに似た葉を見つけ、2021 年 6 月 15 日林内にあったのはナツエビネの大群生であった。まだ蕾は無かったが前年の枯れた花茎が数本もある個体が沢山あった。スギを植林された標高差の無い山に囲まれた緩い傾斜の谷は、約 100 m × 25m の範囲で数百個体を超える大群生地だ。7 月下旬から花が咲きだし、8 月上旬から中旬が見頃であった。何度も訪れ花に囲まれ至福の時を過ごした。



写真 1. ギボウシラン (2021.7.11)



写真 2. ギボウシラン (2021.7.11)

花色はピンクがかかった紫色や紫色の濃淡があるのでここで長く自生していたと思われる。ごった返した間伐材を倒した中であるが個体は健やかであった。スギ林からアカマツ林に移ると乾燥に弱いのか生育はなかった。

・下伊那のナツエビネの生育地は 20 年ほど前飯田市久米にあり、三遠南信の工事に当たり移植 (北城節雄) された。私はこれまで南木曽町柿其溪谷で 1

* 所沢 あさ子 〒 395-0244 長野県飯田市山本 2737



写真3. ナツエビネ (2021.8.11)



写真4. ナツエビネ (2021.8.6)

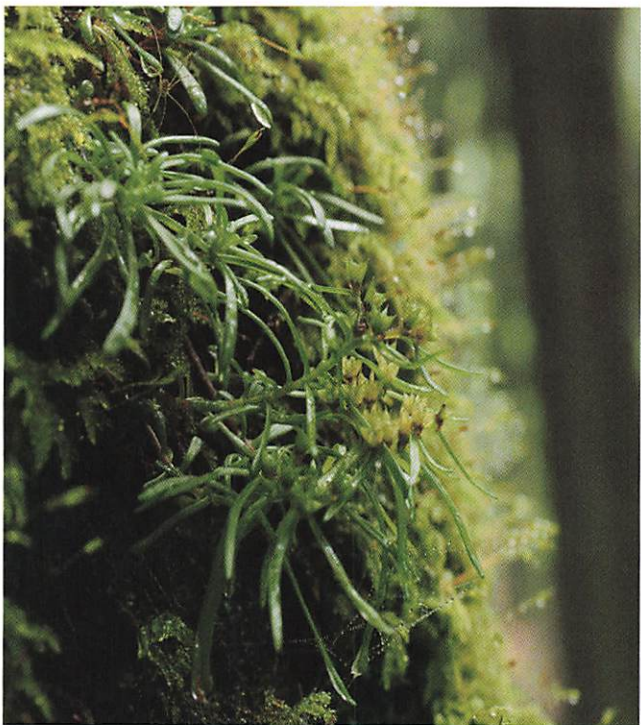


写真5. マツノハマンネングサ (2021.9.19) 清水岳志撮影



写真6. シロバナリョウノウアザミ (2020.9.27)



写真7. キミノソヨゴ (2021.10.21)

個体見ているだけだったので、大変嬉しかった。

マツノハマンネングサ (ベンケイソウ科)

Sedum hakonense Makino

・飯田市南信濃八重河、1508m、2021年9月19日採集、採集者は清水岳志、標本番号 AS5704。写真5 (2021.9.19) 撮影者は清水岳志。

・ブナに着生。葉の長さ 3.5cm～3.8cm、幅 0.2cm ねじれる。

分布は埼玉県から静岡県にかけて太平洋側とされる。ホッサマグナ要素で神奈川県の新産地では普通とされるが、今回は長野県内で初確認となる。

シロバナリョウノウアザミ (キク科)

Cirsium grandirosuliferum Kadota f. *albiflorum*

・飯田市山本 692m 2020年9月27日確認、写真6 (2020.9.27)。

リョウノウアザミの「白花品種」がある。今まで報告がないので「シロバナリョウノウアザミ」と呼ぶ。

飯田市山本や阿智村では夏から初冬にかけて花色ピンク色の個体は、湿地の中や林縁、林内、道端など数多く生育している。白花は道路端と草地に3個

体あり、ピンク色の個体と混じって咲いている。

キミノソヨゴ (モチノキ科)

Ilex pedunculosa Miq. f. *aurantiaca* (Koidz.) Ohwi

・阿智村伍和 590m、2021年10月21日採集、標本番号 AS5703。写真7 (2021.10.21)

ソヨゴの核果 (果実) が黄色の樹木があった。道端の林縁に一個体ある。同日林内には赤い核果をつけたソヨゴが数個体ある。標本では色が分からない。

参考文献

上野勝典・上野由貴枝 (2009) 新産地報告 (5) 長野県植物研究会誌 42 P68

長野県植物目録纂委員会 (2017) 長野県植物目録

下口直久 (2018) ベンケイソウ科マンネングサ属 神奈川県植物誌 (上) P721-725

大場秀章 (2021) ベンケイソウ科マツノハマンネングサ フィールド版日本の野生植物 I P428. PL423 平凡社

長野県植物誌編纂委員会 (1997) 長野県植物誌

岐阜県植物誌調査会 (2019) 岐阜県植物誌 文一総合出版